

最優秀賞

神奈川県社会福祉協議会長賞

偉大なる祖母から学んだ事

伊勢原市立成瀬中学校

三年 葛貫 日菜

私は、祖母を心から尊敬しています。祖母の心は、いつも思いやりでいっぱいです。

祖母は昔から祖父を支えていて、自分の事以上に家族の事を考えてくれています。まさに陰の大黒柱であり、縁の下の力持ちだと思います。

そんな祖母を改めて偉大だと思うようになった出来事がありました。祖父の病気が発覚した時の事です。

祖父が病気になった事は私にとって、とても悲しい出来事でした。私は、祖父が亡くなるかもしれないと聞いた時、涙があふれてきました。

病気発覚からしばらくして、祖父の具合が悪くなってきました。そして、本格的な闘病生

活が始まりました。

まず、祖父は病気によって喉が塞がれてしまったため、食べ物を口から食べられなくなっていました。お腹に栄養を摂るための穴を開け、直接胃に食べ物を送れるようにする手術が行われました。

私は、病気が悪化している事を実感し、落ち込みました。しかし、祖父の胃に入れる献立を考える祖母はなにより楽しそうでした。

そんな祖母を見て、私が暗い表情をしてはいけなと思うようになりました。

祖父の病気はどんどん進行していききました。声帯を切らなくてはいけなくなり、声を失いました。ハーモニカが得意だった祖父。声を失った事によってハーモニカも吹けなくなっていました。祖父のハーモニカが聴けなくなった事に私は、今まで以上に落ち込みました。それでも祖母はハーモニカが出来ないならと、祖父にギターをすすめたり、この状況になっても前向きに進んでいました。

以前、お世話になっていた介護士の方々を家に招き、音楽会を開いた事がありました。祖父がギターを弾き、みんなで歌いました。介護士の方への感謝を伝える事ができ、私達家族にも病気を乗り越えようという活力が生まれました。その日の事は、ずっと忘れる事のない思い出です。

しかし、祖父は去年に亡くなってしまうました。

祖母はいつも仲良しでした。少し頑固な祖父と器の大きい祖母の掛け合いは心地よく、

愛で溢れていました。私はそんな二人の会話を聞いているのが大好きでした。祖母は祖父が病氣だと分かって、誰よりも悲しかつたに違いありません。しかし、祖父は暗い事をとても嫌ったため、祖母は悲しみを表に出さずに、明るく振舞っていました。

どんな時でも、病氣で辛かった祖父を一番近くで励ましていたのは祖母です。祖母の強く、たくましい姿は偉大でした。

長い闘病生活のなかで私達はたくさんの人にお世話になりました。祖父が亡くなった後も関係は続いています。今でも祖母はお世話になった全ての方に感謝し続けています。

また、祖母はハーモニカを祖父の影響で始めました。病院や老人ホームへボランティアとして演奏をしに行っています。

同じ立場で頑張っている人を応援するためだと祖母は言っていました。祖父から受け継いだハーモニカで恩返しをしている祖母は私に、感謝する事の大切さを教えてくれます。

祖母のこのような行動には、祖父の影響がありました。昔、内向的な性格だった祖母に祖父が、人との関わり合いの大切さを教えたそうです。

そんな内向的だった祖母が、今では自治会長を務めています。地域中の方と深い関わりがあった祖母。そのため、祖父が亡くなった時にはたくさんお世話になりました。地域の話合いなどでまとめ役となる自治会長の仕事はとて大変ですが、地域の方々には、お世話になったので、恩返しとして引き受けたそうです。

祖母からは、思いやりと助け合いの大切さを学びました。祖父を支え、思いやる心。周り

の人と助け合い、乗り越えていく心。そして、感謝を忘れず、恩返しする心。このような素晴らしい心を私も持ちたいと思います。

世界中がこのような心の持ち主で溢れて、「福祉」という言葉がぴったりと合う素晴らしい世の中になると良いなと思います。

